

令和7年度 人吉西小学校 学校経営の構想

令和7年4月1日

校長 小柿 勇

校訓：誠実 勉学 健康 友愛

学校教育目標

夢や目標に向かって 自ら学び続け
未来を切り拓いていく児童の育成
～「勇（優）気・やる気・元気」をもって～

- 友愛・誠実 (思いやる力、地域を愛する力) … 勇（優）気
- 勉学 (自ら学ぶ力、コミュニケーション能力) … やる気
- 健康 (体力、自己管理能力) … 元気

1 はじめに

本年度、創立150周年という節目の年に人吉西小学校に赴任し、歴史と伝統のある人吉西小で勤務させていただくこと、27名の先生方と226名の児童との新たな出会いができたことに感謝している。

このメンバーで貴重な1年をともに過ごすことのできる出会い「一期一会」に感謝し、先生方1人1人の指導力が結集され、組織として同じベクトルで人吉西小の教育を推進していきたい。

私たち教職員の「チームワーク」「フットワーク」「ネットワーク」を生かして人吉西小の子どもたちの更なる成長のために課題解決に向けた教育をお願いしたい。そのためにも、先生方が心身共に健康であることが一番と考える。「自己の勤務時間をマネジメントする。」「休めるときは思い切って休む。」「一人で悩まず気軽に相談する。」等メンタルヘルスに心がけてもらいたい。行事の見直しや校務の情報化、学校・保護者・地域での役割分担など、相談活動や同僚性を重視した働き方改革を推進し、働きがいのある職場をつくりたい。

そして、子どもたちにとっての「明日が待たれる学校」をつくるために、「勇（優）気」「やる気」「元気」を持って思い切った指導を展開していただきたい。

2 学校経営方針

教育の基底 「いのち大切にする」 教育の根幹「人権尊重の精神に立った学校」
経営の目標 「子どもたちにとって『明日が待たれる学校』づくり」

～いじめのない、明るく、楽しい
勇（優）気・やる気・元気をもった生き生きとした学校～

3 こんな教育指導を意識して

- 1 夢や目標をもたせ、徳・知・体をバランスよく育てる。
- 2 創立150周年への感謝の心を育み、故郷へ誇りをもる児童を育成する。
- 3 「認め、ほめ、励まし、伸ばす」の教育行動指標を踏まえた教育を実践する。
- 4 I C T等を活用した質の高い授業実践等を通じ、『熊本の学び』の実現を図る。
- 5 人吉西小学びのキャラクター「ナゼッタ」「フムフム」「ピッカリン」を授業で活用し、児童の学習意欲を向上させる。
- 6 効果的な学力向上検証改善サイクルの確立を図る。
- 7 家庭と連携した学習習慣形成に向けた取り組みの充実を図る。
- 8 「五つの合い言葉」あいさつ・勉強・そうじ・おもいやり・感謝の徹底を図る。
- 9 教師自身が課題を設定し、自分を高める。(+α) (人事評価を生かす)
- 10 育てたい資質・能力や目指す子どもの姿を五者で共有し、開かれた、信頼される学校づくりを推進する。(情報発信)
- 11 P T A活動を充実するとともに、人吉市「ネットトラブルからこどもを守る宣言」を活用する。
- 12 働き方改革の積極的な推進を図る。(先生方が元気に子どもたちと学べる)

本年度、重点的に育成を目指す資質・能力

- 思いやる力、地域を愛する力 … 勇（優）気
 - ・ 自分も友達も大切にし、まわりに感謝できる子
- 自ら学ぶ力、コミュニケーション能力 … やる気
 - ・ よく聞き、きちんと話し、進んで学ぶ子
- 体力、自己管理能力 … 元 気
 - ・ 規則正しい生活を心がけ、外で元気になかよく遊ぶ子
 - ・ 仲間と協力し、最後までやり遂げる子

(1) 知・徳・体調和のとれた児童を育成するために

ア 「子どもの命を守る」を第一義に

- キーワード「体力・自己管理能力」 … 元 気
- 自ら安全管理のできる児童の育成

登下校の危険（県道の横断、土砂災害、浸水の危険）が多い状況であることに危機意識を持ち、日常的な繰り返しの徹底指導（学級・集会・一斉下校等）をお願いする。現代的な課題への危機意識をもち、人吉市ネットトラブルからこどもを守る宣言を活用する。

危険予知能力、危険回避能力を育成するために、安全教育を重視したい。

○ 自ら健康管理のできる児童の育成

基本的生活習慣を身に付けさせるための取組を（日々の積み重ね）
健康観察の徹底と養護教諭との連携による健康管理を（感染予防、事故防止）
教科等や給食時間における食に関する指導、食に関する体験活動の充実を

- 自ら運動に親しみ、体力を高める児童の育成
めあて学習の実践による体育の授業の充実を
全校体育の充実、外遊びの励行等、日常的な体育活動の充実を

イ 学力向上が大きな課題でありプロとしての誇りと自覚をもって学力向上を

- キーワード「自ら学ぶ力、コミュニケーション能力」 … やる気
「熊本の学び」アクションプロジェクトの自校化
研究テーマ「自ら問いを発し、学びを深め、未来を切り拓く子供の育成」
～人吉西小スタンダードの深化と

学ぶ喜びを感じるための家庭連携の取組を通して～

誰一人取り残さない学びの保障

(達成感や学習意欲が生まれるように、『分かる・できる』まで1人1人に関わる。)

- ・個に応じた指導、習熟度別指導の拡充
- ・読み・書き・計算の習得の徹底
- ・定着確認の徹底
- ・読解力向上の取組実践

- 徹底指導と繰り返し指導（ドリル学習、家庭学習等）による知識・技能の確実な定着と家庭学習の習慣化を
- 人吉西小学びのキャラクター「ナゼッタ」「フムフム」「ピッカリン」を授業で活用し、児童の学習意欲の向上を
- 家庭学習の具体的な指導と学力向上に資する自学ノートの指導と学習時間の把握を
- I C Tを効果的に活用しながら言語活動を充実させる指導方法をみんなで知恵を出し合いながら考案し、知識・技能の定着と活用力や主体的な態度等の育成を
- 「全国学力学習状況調査」や「県学力調査」の問題や調査結果等を活用し、教材開発や学習活動の一層の充実を
- P D C Aサイクルによる指導と評価の一体化を図った授業実践及び日々の評価と指導改善の記録として週案の活用を
- 外国語活動・外国語の指導力向上のための学校総体の取組を
- 特別な支援を要する児童については、保護者の思いを受け止めながら、困り感解消に向けた手立てを考え、個に応じた支援を。
- 特別支援学級の児童については、児童や保護者の思いを受け止めた自立支援を。
そして、積極的な交流による、共生の心の育成を。

ウ 豊かな人間性の育成を

- キーワード「思いやる力、地域を愛する心」 … 勇（優）気

「五つの合い言葉」あいさつ、勉強、そうじ、思いやり、感謝の徹底を図る。

と	友達と笑顔であいさつ
り	理解する（わかる）まで勉強
が	がんばろう！無言そうじ
お	思いやりの心を持って
か	感謝「ありがとう」が言える西っ子に

- ・教師の後ろ姿の教育と教師自ら率先垂範
- ・あいさつ、返事（生き抜く力の基礎）についての家庭啓発・実践励行
- ・教師が発する言葉や見せる態度は、児童、保護者、地域に大きな影響力を持つことの自覚を。
- ・できる子、できた子へのタイムリーな返しと成長を家庭連絡
- ・絶対に「学ぶ権利を奪う言動」「肉体的・精神的に苦痛を与える言動」等はあってはならない。
- ・全ての教育活動をとおした人権教育の推進、人権宣言の意識化を図る繰り返しの指導
- ・チクチク言葉を見逃さないタイムリーな指導とふわふわ言葉の励行を
- ・善行の啓発や感謝の気持ち伝え合う場の設定等自尊感情を高める取組を

○ 「熊本の心」「つなぐ」の活用を

- ・考え方議論する道徳科の指導法の工夫改善による道徳的実践力育成と授業公開や地域・保護者の参加・協力等家庭や地域との連携による道徳教育の推進を

○ 本校の特色ある教育（ふるさと学習）の推進（地域を愛する心）

- ・ふるさとを知る。
- ・ふるさとを誇りに思える。
- ・ふるさとの未来を描ける。

○ いじめを「しない」「させない」「許さない」子どもの育成

- ・人吉西小学校いじめ防止基本方針にある対策の具現化を
- ・「先生に相談したい」「先生は守ってくれる」という子どもとの信頼関係の構築を
- ・「いじめは絶対に許されない行為」という指導を、年間計画に沿った意図的計画的に、また、日常的に繰り返しの指導を通して未然防止に努める。
- ・一人一人表情や行動観察、日記内容のチェック等アンテナを高くして、子どもの変化に気づき、踏み込み、いじめの早期発見、早期解決に努める。
- ・いじめが発覚した場合は、一人で抱え込まず、組織で対応を
- ・報告・連絡・相談が大切、今年度はとくに相談を

(2) 開かれた、信頼される学校の継続のために

ア 保護者や地域の方々と共に育てる教育を・・・地域学校協働活動の推進

家庭科、生活科、社会・総合、行事等への協力
地域の行事等にも子どもの成長につなげるチャンスがある。

イ 保護者や地域の方々が学校の様子を把握できる取組を

- 学級通信等や学校ホームページを活用し、子どもたちの様子を積極的に発信してほしい。
- 学校や学級を開くことで、保護者アンケートの客觀性を高め、自己評価の参考となるようにしてほしい。

ウ 「人吉西小で学ばせてよかったです。」と思っていただける環境を

- 施設設備の安全面を確保し「安心して預けられる」と言われるよう、「安全点

検」を徹底する。日常的にも危機管理意識を持ってほしい。（教師の責任）

教室の整理整頓、職員室の机上・棚の整理等にも努めてほしい。

- 花と緑のある潤いのある学校づくりを進めたい。協力をお願ひする。

※学級花壇や担当の花壇の状況は？ 教育と同じ手を掛けるだけ成長

- 子どもたちの活躍や学習の足跡に「ほめ・認め・励まし」のコメントのある掲示に努めて欲しい。

また、担当掲示板の創意工夫ある活用に努めてほしい。

エ 教職員としての自覚と誇りを持って

- 服務上の義務（職務専念義務、信用失墜行為の禁止、守秘義務等）の遵守

- 不祥事の根絶

酒気帯び運転、個人情報の漏洩・紛失、学校盗難、公金管理、体罰、等

ギリギリは危険…時間（余裕を持って到着）、提出物（対外的なものは1週間
前には準備）

- 不祥事防止を組織として取り組む

宴会時の声かけや見送り、儀式的行事等職員不在時の施錠、個人情報は必ず
学校で取り扱う、体罰や暴言等への注意（同僚性をもって）

全職員のボトムアップでの不祥事防止研修の実施

- 記章の着用

- 来校者へのおもてなしの心（家庭と同じ児童の模範となるように）
あいさつと丁寧な対応、お見送り

- 組織としての対応を（一人で抱え込まない・悩まない）

職員同士の報告・連絡・相談を密にし情報の共有化を図り、組織の一員として
保護者・地域へ対応する。小さな事でも情報として管理職へ相談。

4 おわりに

学校は、学校教育目標の達成に向けた目的集団である。1人1人の強みを生かし、この集団でできうる最大限の効果を発揮できるようにしたい。メンバーが替われば、当然方法や手立ても変わる。経験があるのも大きな財産であるが、経験がなくてもできること、新鮮な気持ちでやれることがある。だから、先生方1人1人が学校にとって貴重な人的環境である。子どもの成長のために全職員で力を合わせましょう。

そして、学校教育目標、重点的に育成を目指す資質・能力に基づいた、目指す児童の姿の実現に向けて五者（子ども、学校、家庭、地域、行政）が共有し、連携・協働して教育課程を進めていきたい。そして、その姿へと成長できたとき、皆で子どもたちの成長を喜び合いたい。

今年度の取組を通じて、子どもたちが「人吉西小で学んでよかった。」「人吉西小大好き。」と言ってくれるような学校づくりをみんなで協力し合いながら進めていきたい。

結びに、実行委員会を中心に創立150周年事業を推進し、子どもたちの成長につながり、母校を愛し故郷への誇りをもって未来を切り拓いていく児童を育成したい。そのために、地域と共にある学校づくりを推進したい。